

地震被害調査小委員会

R2年度活動報告

- ◆ 委員長：清田隆
- ◆ 副委員長：高橋良和
- ◆ 幹事長：小野祐輔
- ◆ 委員数：25名

地震対応

活動の基準

国内の地震：震度5強以上を目安に情報収集を呼びかけ

海外の地震：基準無し(インパクト、委員会の関心に応じて呼びかけ)

- 2019年6月18日 山形県沖で発生した地震：情報収集、website立上げ。池田隆明委員(長岡技科大)を団長とする緊急被害調査団が現地調査。
- 2019年6月25日-7月4日 2018年インドネシア・スラウェシ島地震 継続調査
- 2020年1月24日 トルコ東部で発生した地震、情報収集
- 2020年3月13日 石川県能登で発生した地震、情報収集

2019年山形県沖の地震 被害調査

地震の概要

発生日時：2019年6月18日22時22分

地震規模：Mj6.7

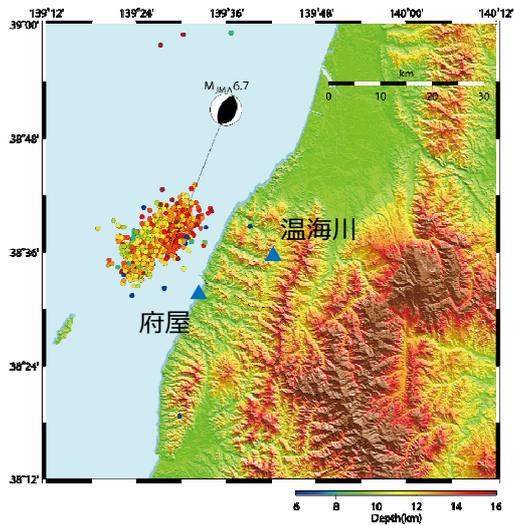
震 央：山形県沖
38°36.4' N 139°28.7' E

震源深さ：14.0km

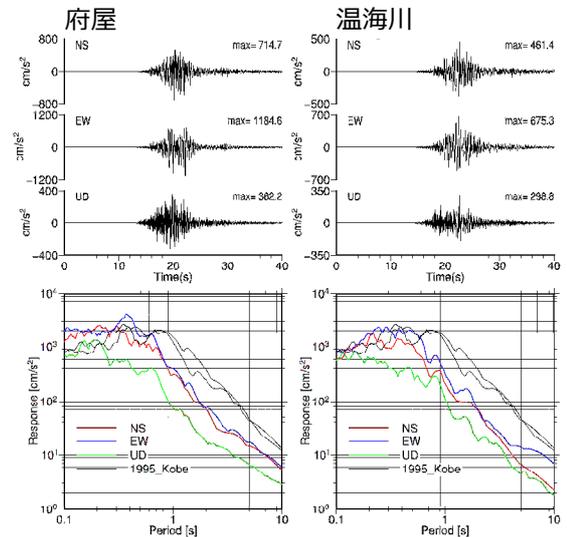
震度および被害

震度：6強(最大) 村上市府屋
6弱 鶴岡市温海川

住家被害：一部破損 145棟



震央と余震分布



観測記録の加速度時刻歴と加速度応答スペクトル



行事

親委員会、および他学会による以下の講習会・報告会において、小委員会メンバーが講演。

- a) 平成30年北海道胆振東部地震による地盤災害調査団 最終報告会
2019年8月29日(金) 北海道大学 フロンティア応用科学研究棟
主催:地盤工学会:共催:土木学会
- b) 2018年北海道胆振東部地震被害調査報告書 講習会
2019年9月6日(金) 筑波大学 東京キャンパス文京校舎
主催:土木学会 地震工学委員会:共催:土木学会 北海道支部
後援:地盤工学会、日本地震工学会
- c) 2018年北海道胆振東部地震被害調査報告書 講習会《北海道》
2019年12月16日(月) 寒地土木研究所
主催:土木学会 地震工学委員会:共催:土木学会 北海道支部

出版

2019年9月6日の北海道胆振東部地震被害調査報告書 講習会において、報告書の構成の解説と最終的な報告を実施。



丸善出版
定価6,700円+税

- 第1章 被災地域の概要
- 第2章 震源・地震動・地殻変動
- 第3章 地盤の被害
- 第4章 道路構造物の被害
- 第5章 鉄道構造物の被害
- 第6章 河川堤防および河道の被害
- 第7章 港湾構造物の被害
- 第8章 農業施設・ダム被害
- 第9章 ライフラインの被害
- 第10章 電力の被害と停電の影響
- 第11章 住民および交通への影響
- 第12章 災害時行動・災害対応
- 第13章 学会支部等の対応



令和2年度の活動計画

- ◆ 委員会開催(年1回)
- ◆ 国内外の地震発生時に、地震工学委員会委員長、幹事長、運営幹事、土木学会専務理事、事務局長などと協議し、調査団派遣を決定する。収集した情報は、他委員会・他学会と随時連絡を密にして共有する。
- ◆ 観測地震記録ダウンロードサイトの運営